

堺市民憲章 60年を経て見直しへ

「堺市民憲章」をご存じでしょうか？昭和38年に堺市が「理想の都市をめざすために」、市民の意見を基に堺市の特徴を取り入れて作りました。二十歳の集い(成人式)などの市主催行事や、自治会行事で朗読されるなどして活用されています。しかし、制定から60年以上が経過し、堺市の現状や方針、現代的な価値観からズレてきたように思えます。そしてこの度、それを指摘した私の質疑がきっかけで、市民意見を募集することになりました。ぜひこの機会に皆さんも「理想の堺」を考えてみてください。



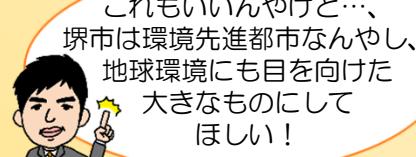
今の若者にはどう
映るでしょう？



働き方は
人それぞれ。
たくましく働けない
人もいるん
やしね



教育・文化・
平和・健康…
これはその
通りやと
思う！



これもいいんやけど…
堺市は環境先進都市なんやし、
地球環境にも目を向けた
大きなものにして
ほしい！

ご意見をお寄せください！ FAX: 072-320-0103
Mail: takeshi_fuchigami@yahoo.co.jp

議員の仕事は、市民の声を市政に届けること。まずは「聞くこと」です。

皆様のご意見、ご不満、お困りごと、何でもお聞かせください。政策立案に活用させて頂きます。

お名前：

TEL :

住所：

※匿名でも結構ですが、ご連絡先をご記入くださいましたら、必ずお返事いたします。

堺市民憲章

【前文】

わたくしたちは、自由と自治・貿易と文化の輝かしい伝統をうけつぐ堺の市民であることを自覚し、わたくしたちのまちが、新しい国際的工業都市として発展していることを考え、このまちを、より住みよく明るい幸福な大都市に建設していくために、総調和の精神をもって、みんながともに守っていく、この憲章を定めます。

【本文】

わたくしたち堺市民は、

- 1 たくましく働くことに喜びをもち、生産の向上につくします。
- 1 教育に力をそそぎ、すぐれた文化のまちをつくります。
- 1 愛と信頼をもって助け合い、平和で健康な生活をきずきます。
- 1 秩序を重んじ、ひとに迷惑をかけないようにします。
- 1 心をあわせ、美しく清潔なまちづくりにつとめます。

堺市の意見募集にご協力ください！

詳しくは「広報さかい」の11月号、
もしくは堺市ホームページをご覧ください。
募集期間は10月下旬～1月上旬(予定)です。

今の堺市や、
堺市の目指す姿は
「国際工業都市」
なん？

生産性が必ずしも
人の幸せや、まちの
目指すべき第一のもの
とは思えんなあ…

たとえ迷惑をかけても
「お互い様」で許し合い、
助け合えるまちに
したい！

「人は、人に迷惑を
かけずに生きて
いけない」って
学校で教わったよ
とウチの娘も言ってました…

ふっちーのつぶやき (編集後記)

イメージカラーをオレンジにして11年以上。最近よく「参政党?」「かぶつってるやん」と言われます(参政党は結党5年なのに…). ①悔しいけどイメージカラーを変える、②いっそ参政党に入る、③全身オレンジにして参政党の上をゆく、④気にせず今まで通り活動する。…そりゃ、④やで！



堺市議会議員(堺区選出・無所属)

2025秋号

ふちがみ猛志議会活動報告 Vol.42



【ふちがみ猛志市政相談所】

堺区新町2-4 小山電ビル2F-A1

TEL/FAX: 072-320-0103

Mail: fuchigami.info@gmail.com

たけし

ふちがみ猛志議会活動報告 Vol.42

- 1977年堺生まれ、堺育ち
- 妻 娘15歳、息子13歳、10才
- 錦小学校 殿馬場中学校
- 三国丘高校 神戸大学法学部卒
- 堺市議会議員(3期目)
- 保護司 ●養育里親
- 高校時代の部活はハンドボール(補欠)

※この号の記事は9月30日付のものです

もくじ ゼビ2ページ目以降もご覧ください！

- P2. またたなしの不登校支援 / 大仙公園の気球
P3. 海上交通 開古島から盛況へ / 保育人材の確保 等
P4. 堀市民憲章 60年を経て見直しへ

の政令市平均は63%。多くの政令市は将来負担のバランスを取りながら、ちゃんと投資をしているのです。

370億円の投資で何ができるか

たとえばフェニーチェ堺の建設費は約150億円でした。堺ミュージアムの建設や中央図書館の建て替えは、検討ばかりが延々と続いている状態で、言い換れば借金をする余力がまだあるのにしていない状態です。その「余力」たるや、なんと370億円！将来負担比率と言えます。370億円の借金の余力を活用すれば容易に実現でき、お釣りもきます。縮小志向ばかりではまちはよくなりません。この決算議会では、市長の身内であるはずの維新の議員までもが「大規模工事については、単なる支出ではなく、未来への投資として位置付けすることが重要」と苦言を呈しました。その想いが永藤市長に少しでも響くといいのですが。



老朽化が進む中央図書館

異常な低水準が続く借金(=投資の少なさ)

8・9月の決算議会でここ数年、私が指摘し続けていられるのが、借金が少なくすぎることです。自治体の借金は少ないほど良いわけではなく、少なすぎる借金は、投資の少なさの表れです(下記参照)。堺市の将来負担比率(財政規模に対する借金残高の割合)が4年連続で0以下。これは、借金返済のために用意された財源(将来を含む)よりも借金残高が下回っている状態で、言い換れば借金をする余力がまだあるのにしていない状態です。その「余力」たるや、なんと370億円！将来負担比率



※通常、0以下は一律に「算定されず」と公表されますが、マイナス表記をすることで、「どの程度下回っているか」を可視化しました。

自治体の借金は「あえて」するもの

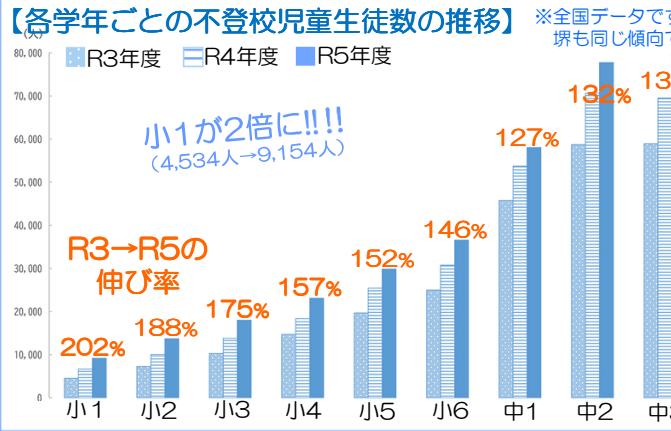
現金一括払いインフラ投資すると、現時点の市民が全額負担。すぐに亡くなる方や引っ越しされる方は負担だけしてそのインフラを利用できません。一方で将来世代はタダ乗りです。だから、インフラ投資の際は、あえて借金し、ローン払い一代間の負担を公平にします。これが自治体経営の基本。借金の量は、投資の量と表裏一体です。借金は多すぎても少なすぎてもダメ。バランスが大事なのです。



まったくなしの不登校支援

急増する低学年の不登校

不登校の児童生徒が急増し、10年前と比べて3倍以上にもなりました。絶対数はやはり中学生が多いのですが、増加率で言えば、小学校低学年の増加が顕著です。小学校1年生は令和3年から5年の2年間だけで、実に2倍以上に増えています。



校内にも確実な居場所を

「教室には入れないけど、学校には入りたい」という子もいます。そんな不登校児のための部屋(校内教育支援教室)が必要です。「今日は保健室、明日は職員室」というたらいまわしが精神的に負担となり、学校から遠ざかる子もいます。人と場所の確保は、現場の力だけでは難しく、教育委員会による支援が不可欠です。この校内支援教室について、私の質疑の中で教育委員会は「不登校の未然防止や登校復帰の支援に効果がある」と認めました。有言実行、予算確保も含めた速やかな対策を求めていきます。

【堺市の校内教育支援教室の設置状況】

	設置	未設置
中学校	24校	19校
小学校	40校	52校

クラスに1人が不登校

不登校の児童生徒は全国で約35万人。30人に1人の割合を超えてます。学校内外の居場所(教育支援教室)を増やすこと、家庭でも学校とつながり学べる環境の整備(オンライン授業)、文科省が目指す不登校の子のための学校(学びの多様化学校)の設置など、課題は山積です。民間のフリースクールへの通学補助で、選択肢を増やすことも重要です。また、そもそも「なぜ学校に行きたくないのか」。詰め込みのカリキュラムや、テストだらけの学力偏重教育にも原因があるはずです。誰一人取り残さない公教育を目指し、私も当事者として引き続き頑張ります。



堺区の教育支援教室
「スプリングボート」



委員会で不登校支援を訴える

韓国で人気の気球の夜間飛行

韓国の世界遺産水原(スウォン)で運行中の気球は、夜景を楽しむカップルなどで夜の方が人気だそうです。そこでこの度友人の協力の元、個人的にドローンで仁徳陵(大山古墳)を夜間撮影したところ、神秘的な漆黒の巨大古墳と夜景とのコントラストに、思わず息を呑みました。昼とは違う夜の古墳の魅力は、リピーター獲得につながり、古墳の普遍的価値を伝える一助にもなるでしょう。安全第一が大前提ですが、10月運行開始の堺の気球も「ぜひ夜間飛行の検討を」

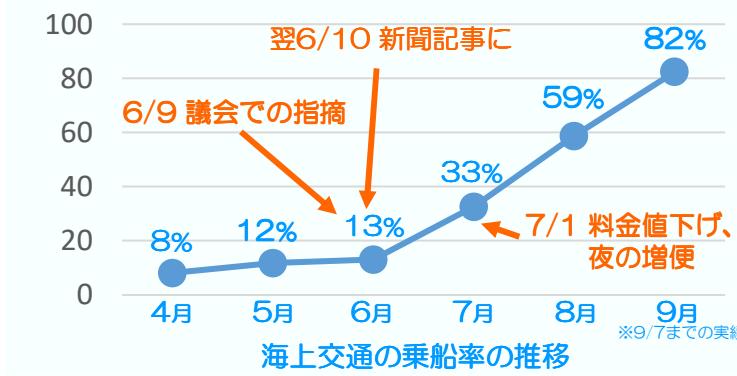
と、仲間の議員と共に求めました。当局は「昼間の運行開始後、地域住民の理解を得られる場合には検討したい」と答弁。私もこの夜の景色を、ぜひこの目で直接見てみたいものです。



昼の気球から見られる景色
事業者によれば「夜の方が気流が安定し、安全運行しやすい」とのこと

海上交通 閑古鳥から盛況へ

6月の議会で、市税が投入された事業である、堺旧港と万博会場をつなぐ海上交通の不人気ぶりを指摘。その場で①宣伝不足、②料金が高い、③閉会後に堺に帰る便がない、という3つの課題が明らかになりました。それら課題への対策が取られた結果、乗船率はうなぎ登りに。当初は不人気ぶりを隠したいのか、乗船率を示さなかった事業者でしたが、議会での追及の結果、低调な乗船率が明らかとなり、対策が取られる一つのきっかけに。また、議会での追及がメディアで取り上げられたことも、知名度向上に一役買ったかもしれません。いずれにせよ、ダメなものはダメだと、隠さずに認めることが改善の一歩目。これからも議会では忖度なく、是々非々で指摘していきます。



てくてくろーどをご存じですか?

堺市政100周年を記念して作られた「てくてくろーど」。堺区内の名所旧跡67カ所を結ぶ路面案内表示ですが、完成から40年近くが経過し、破損が目立ちます。直近では1カ所の修繕に33万円かかりましたが、修繕が必要なものがまだ40カ所ほどあります。もはや使っている人はほとんどおらず、修繕費用をケチって大半は破損が放置されたまま。景観も損ねています。一方、今はスマートなどを使っていくらでも街歩きの案内が可能です。もはやてくてくろーどはその使命を終えています。私は、負担を先送りせず、思い切って撤去に踏み切るべきだと主張。当局は「撤去も含めて、今後のあり方を慎重に検討する」と答弁しました。



保育人材の確保に全力を

自治体間での保育人材の獲得競争が激化し、独自に待遇改善を実施する自治体が増加。一方、堺市はそれまであった保育士の就職支援金20万円を、昨年度に廃止。保育人材が(支援金制度のある)大阪市や和泉市に流れている、現場のモチベーションに影響している、紹介会社を通じて人材を確保せざるを得ず、高額の紹介料が負担になっている等々、現場から悲鳴の声が上がっています。私は市独自の取り組みの再開を強く求め、当局は「保育士確保は喫緊の課題」と認め「効果的な事業を検討する」旨を表明しました。



一時保護所の環境改善を

虐待等で保護された子が過ごす一時保護所が満杯のため、今は使われていない別の公共施設を転用して、定員を増やすことに。しかし、間取りも変更せず、備品もそのまま放置。一番広い居室(ひとり部屋)は、元は会議室で85m²。だだっ広い無機質な空間にベッドが置かれ、そこで一人で寝泊まりする子はどんな気持ちになるでしょうか?たださえ、心に傷を負っている子たちなのに。改善を強く求め、当局は「過ごしやすい家庭的な環境の整備に取り組む」と表明。

